

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2005年6月14日

2005年6月12日現在

6月12日に終わる1週間の気象は、荒れ模様となり低温・湿潤気象であった。最高気温はNC地区では68～75度F、NE地区では74～78度F、Cent.地区では69～73度Fであった。最低気温は各地とも38～46度の間であった。1週間の降水量はNC地区では0.59～3.82インチ、NE地区では0.83～2.97インチであった。Cent.地区では殆どの観測上が1.20インチ以上を記録した。1週間の州平均農作業稼働日数は1.6日(前週：3.6日)であった。

Topsoil、Subsoil共に土壌水分は昨年より良い状態となったが、“過剰”の圃場が増えた。今後の生殖成長にとり極めて良い土壌水分状態となった。

冬小麦は全体の78%が穂孕み期にあり、29%が出穂した。出穂は低温・降雨が長引き昨年並びに平年(33%)より大分遅れを出した。

春小麦は節間成長中であり、全体の17%が穂孕み期に入った。生育は例年より遅れている。

冬小麦並びに春小麦の作柄評価は前週より良くなり、5年平均より良好な評価となった。Durum小麦の作柄は極めて良好と報告された。現在のところ目立った病虫害の報告は無いが、低温・湿潤気象が続くと病害の心配が増える。

6月10日USDA発表の6月1日付け冬小麦生産量予想では、単位収量は5月1日と変わらず41.0bushels/acrで昨年実績と同数であった。詳細は別表の通り。

土壌水分：2005年6月12日現在

Topsoil

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr. Ave.
Very short (%)	0	2	9	12
Short (%)	5	15	18	26
Adequate (%)	77	74	66	57
Surplus (%)	18	9	7	5

Subsoil

Very short (%)	10	19	27	30
Short (%)	26	39	30	34
Adequate (%)	59	39	42	35
Surplus (%)	5	3	1	1

小麦生育状況：6月12日現在

次ページへ：

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr Ave.
Winter Wheat				
Boot (%)	78	64	80	74
Headed (%)	29	3	34	33
Spring Wheat				
Boot (%)	17	10	10	10
Durum Wheat				
Emerged (%)	93	83	58	NA
Boot (%)	8	NA	NA	NA

冬小麦作柄状況：6月12日現在

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave.
Very Poor (%)	2	3	4	16
Poor (%)	9	10	10	21
Fair (%)	31	35	49	30
Good (%)	41	37	29	25
Excellent (%)	17	15	8	8

春小麦作柄状況：6月12日現在：

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave
Very poor (%)	1	0	2	4
Poor (%)	2	1	6	8
Fair (%)	18	31	36	33
Good (%)	64	57	52	48
Excellent (%)	15	11	4	7

Source: Montana Agricultural Statistics Service

6月1日付けUSDA発表の冬小麦生産量予想：

State Crop	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				May 1	June 1		
MT	1,630	2,050	41.0	41.0	41.0	66,830	84,050
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	44.1	1,499,434	1,545,971

当該作柄と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>